

1. 日本畜産学会

日時：2012年3月28日-30日 於：名古屋大学東山キャンパス

主催：日本畜産学会

1) I29-22~24 和牛への DDGS および飼料用米の高度利用技術の開発

桜井由美(栃木畜酪研)、浅田勉(群馬畜試)、小林正和(千葉畜総研)ほか
黒毛和種去勢牛にトウモロコシと大豆粕の代替えとして粉碎玄米20%、DDGS20%
で無加水 TMR または加水発酵 TMR(水分40%)を調製して給与すると増体成績・枝
肉格付成績、脂肪交雑などで対照区と有意差はみられなかった。

2) I29-25 コメ DDGS の黒毛和種肥育牛への給与 樋口幹人(畜草研)ほか

黒毛和種去勢肥育牛に濃厚飼料の12.5%をコメ DDGS、さらに12.5%を圧ペン
トウモロコシで代替え給与し、肥育中。コメ DDGS は CP48%, ADF2.5%, NDF3.5%,
pH4.1。乳牛で利用済み、肉牛では15%代替えが目標。

3) I29-26 初付き飼料米の配合割合の違いが黒毛和種去勢牛の枝肉成績及び胸最長筋の脂肪酸組成に及ぼす影響 土江 博(島根畜技セ)ほか

0.5mm 破碎した初付き飼料米(ミホヒカリ)を配合飼料に現物比25, 50, 75%配合給
与して肥育した。25%配合では、1日採食量が8kgで最も多く、枝肉成績も50, 75%
配合よりも良かった。初付き飼料米を給与することにより枝肉脂肪は硬くなり、脂
肪色は白くなった。

4) I29-27 飼料用米混合配合飼料給与が黒毛和種去勢牛の肥育成績に及ぼす影響

守田 智ほか(熊本農研センター)

黒毛和種去勢牛に粉碎玄米を配合飼料の20%代替え給与して肥育した。全肥育期間
の増体成績、枝肉成績はほぼ同じであった。BMS 値5.5-6.0で脂肪の色は玄米代替え
で白くなる傾向があった。

5) I29-28 粉碎玄米給与が黒毛和種去勢牛の肥育成績に及ぼす影響

齋藤早春ほか(道総研畜試)

黒毛和種去勢牛に粉碎玄米を配合飼料の18%(DM比)代替え給与して20ヶ月肥育
した。粉碎玄米は第一胃内分解が速いが、18%代替えでは第一胃内容液性状に有意
差はみられなかった。粉碎玄米代替えにより枝肉重量、ロース芯面積は大きく、BMS
値が高い傾向が見られた。

6) I29-29 コーンサイレージ(CS)主体飼養における飼料米給与が肉用牛の消化率及び第一胃内発酵に及ぼす影響 遠藤哲代ほか(道総研畜試)

配合飼料中の非加熱粉碎トウモロコシと圧ペン大麦を飼料用玄米で20-60%代替え
して黒毛和種去勢牛に給与すると、飼料米の割合が増すと総乾物摂取量は減少し、
デンプンの消化率が低下し、第一胃内のA/P比が高くなった。60%代替え給与は採
食量と第一胃発酵に負の影響を及ぼす可能性がみられた。

7) I29-34 ビオチン給与が黒毛和種肉用牛の肉中脂肪酸組成に及ぼす影響

増子 孝則(明治飼糧(株))ほか

ビオチンはビタミンB群の一つでSCD酵素活性と遺伝子発現を高める。SCDは
不飽和脂肪酸代謝を活性化する。黒毛和種肥育牛にビオチンを1日200mg給与する

と筋肉内脂肪のオレイン酸含量が増加した。肥育牛へのビオチン給与は肉の風味の向上させる可能性がみられた。

8) **II 28-10** **イアコーンサイレージ(ECS)を給与した黒毛和種育成牛の発育**

浅田正嗣(家畜改良セ十勝牧場)ほか

黒毛和種育成牛を3ヶ月齢から9ヶ月齢までトウモロコシ雌穂をサイレージに調製したECS(DM50%, CP8.4%, TDN80%)を配合飼料に代替えて給与したところ雌も去勢牛も体重、増体量(0.77~0.92kg/日)とも配合飼料給与牛との間に差がみられなかった。

9) **II 29-10** **高刈りがトウモロコシサイレージの飼料成分および栄養価に及ぼす影響**

青木康浩(北農研)ほか

トウモロコシの刈り高を黄熟前期に30cmから78cm, 黄熟後期に17cmから38cm, 完熟期に23cmから85cmに切断長9mmに設定して収穫しサイレージに調製した結果、黄熟期の高刈りはサイレージのDM%が高まり、NDF・ADF消化率が高まり、TDN含量が5~9ポイント上がったが切断長3mmではその効果は顕れず、完熟期の材料では高刈りの栄養価向上効果はみられなかった。